

上田市教育委員会 1 月定例会会議録

1 日 時

令和4年1月20日（木） 午後3時00分から午後3時37分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 第1会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	綿 谷 憲 一
委 員	森 田 小 百 合 (欠 席)
委 員	大 久 保 恵 子

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、櫻井スポーツ推進課長、

1 あいさつ

例年にない厳しい冬を迎えている。昨日、菅平は−21.4℃の寒さを記録した。このところ、上田市でも−10℃ぐらいになるときがあり寒いわけである。厳しい寒さに加えて、コロナウィルスのオミクロン株の感染拡大となっている。教育委員会事務局、公民館、図書館、体育施設等々で計画されているイベントについて、中止または延期ということで慎重に検討して進めていきたい。なお、コロナ禍であるので定例会は能率的に進めさせていただきたいのでお願いしたい。

2 協議事項

(1)市民の森スケート場の廃止について（スポーツ推進課）【説明あり】

○資料1により櫻井スポーツ推進課長説明（要旨）

資料1をお願いしたい。市民の森スケート場については、小学生を中心に非常に親しまれている施設であるが、近年の利用者の減少、施設の老朽化等により、今後多額の財政負担が予想されている。スケート場を共同運営する東御市との「市民の森スケート場運営協議会」において、施設を廃止する方向で検討がされており、また先日市長を含める理事者との協議でも廃止の方向性が確認された。非常に苦渋の決断であるが、施設の廃止に向けて事務を進めることでお諮りしたいものである。

1 施設の概要

- (1) 建設年度は昭和60年度ということで築36年を経過している。
- (2) 利用状況等は、資料記載のとおり利用者数にともなう使用料、管理運営の経費、上田市が負担している金額、東御市が負担している金額、それぞれ平成5年、15年、25年、直近の令和1年、2年と実績を載せている。資料ご覧のとおり利用者数については減少傾向、費用については光熱費の増加により増加傾向が読み取れる。
- (3) の営業期間だが、令和2年度の実績として49日間営業した。今年度も49日間営業する予定である。
- (4) 過去の整備状況は、平成11年から14年まで冷却整備等を中心に2億6千万円ほどかけて更新をしてきている。直近では平成30年にトイレの様式化工事をしている。

2 施設の現状

- (1) これまで多くの市民の皆さまにご利用されてきたところだが、少子化、余暇活動、レジャーの多様化、長野市や軽井沢町に大規模な施設が整備されたことにより、利用者は減少傾向にある。資料2ページをお願いしたい。
- (2) 施設や機器は老朽化が著しく、近年修繕費が増加している。特に、低濃度のPCBの処分期限が迫っていること、氷を冷やすために使っている冷媒装置のフロンが製造禁止となっているなど、今後、大規模な更新が必要となる。
- (3) 温暖化の影響もあるため、氷を作るための光熱水費が増加傾向にあり管理運営費が増加している状況である。

3 設備等を更新させる場合、今後必要と見込まれる経費

主には、冷却設備の更新、フロンが製造禁止になったこともあり、フロンが手に入らなくなる。これから、フロンを入手するのに多額の費用が掛かってくることもあり、直近に迫っていることでもあるが1億8千万円ほど、また、氷を冷やすための冷却管の取替工事が2億2千万円ほど等見込みであり、合計6億円の費用が今後見込まれている。

4 廃止の時期

地域協議会、豊殿まちづくり協議会との協議、市民への周知に係る期間を考慮し、令和5年度の営業を以って廃止としたいと考えている。ただし、廃止前に先ほど申し上げた設備は

老朽化が著しいため、いつ止まってもおかしくないというような状況にもある。多額な修繕費がかかる金額が発生した場合には、東御市とも協議をしてその段階で今後の方針を決めていきたいと考えている。

5 跡地利用

スケート場は4月から10月までスケート場として利用していない期間は、ゴーカート場として使っている。この部分についてはほぼ利用しているような施設でもあるので、引き続き可能な限りゴーカート場として使っていきたいというように考えている。

そのほか、資料の方でスケート場の様子を写真で掲載している。施設が老朽化している様子もあるが、写真のいちばん最後は令和元年度のスケート場まつりでお子さんたちが利用されている様子である。

最後に参考として上田市東御市でスケート場の存続について市民アンケートを実施した。上田市では1,500人中559人の方に、東御市では1,000人の方が出席して629人の方にご回答をいただいた。その中で廃止は致し方ないという回答が上田市では55.6%、東御市では45.5%の方の回答をいただいている。

峯村教育長

ただ今の、市民の森スケート場の廃止の案について、ご意見等をお出しいただきたい。

大久保委員

フロンの製造が禁止になるが、一応令和5年度までの確保の目途はあるのか。

櫻井スポーツ推進課長

すでに製造禁止となっているが、基本的には使っても回収されるというものであり、今のところ、市場に出回っていて令和5年度までは価格が高騰しない中でできるのではないかとこのように思っている。

大久保委員

廃止の方向は理解できるが、市民の森のスケート場は思い出の強い市民の方や、小さい頃よく滑ったなど多数いらっしゃると思う。廃止にあたっては、丁寧な説明や直前のセレモニーのようなものを企画していただいて、感謝で終わるようお願いしたい。

櫻井スポーツ推進課長

市民の方にはもちろん丁寧な説明が必要と考えている。営業最終日なのか最終年度については、何か企画を考えていきたいと思う。

綿谷委員

廃止の方向で良いと思う。今からでも止めていただいてもよいと思うが、やはりこれだけのお金を使われてコロナのこともあり、令和元年から2年にかけても利用者が半分ぐらいの人になって、学校等でのスケート教室はどのくらい使われているのか。

櫻井スポーツ推進課長

今年度のスケート教室は、上田市で21校がスケート教室を予定している。今月に入ってからコロナの影響もあり、全て中止という状況になっている。令和2年度も同じような状況の中でスケート教室はほぼ開かれなかった。利用者数は大幅に減少しているといった状況である。

綿谷委員

小学校の授業において、全くスケート教室に参加しないで終わってしまう子どもたちもいると思う。その中でそのような機会を与えていると重要なことだと思う。今後、スケート場がなくなったときに、スケート教室は市民の森以外のところで行われるということも考えられるのか。

櫻井スポーツ推進課長

私どもとすれば、綿谷委員がおっしゃられたようにスケートを親しむ機会としてスケートに触れていただきたいと思う。スケート教室を市外でも実施するご希望があればお子さんの利用料について我々の方で補助する、あとはバスが必要であれば市のバスを使っていただく。今もそうだが、市のバスが使えなければバスの交通費を補助する等、そういったスケート教室を開催する支援をしていきたいというように思っている。それ以外にも軽井沢の風越にスケート場があるので、そういったところの利用の補助みたいなものが考えられるのではないかと思う。ただ、指導主事の先生にお聞きすると、なかなか市外まで出掛けてまでスケート教室を行うことはあまりないのではないかというようには考えている。

綿谷委員

子どもたちもせっかく長野県に生まれて教育を受けて、その中でスケートを知らない子どもたちがいるとなると何となくさみしいと思う。スケート場は老朽化で維持にもお金がかかってくることで廃止の方向で良いと思うが、教育としての機会を残していただきたい。代替として何か考えていただきたいと思う。

峯村教育長

ご希望ということで伺わせていただく。
ほかにはよろしいか。

北沢委員

大久保委員、綿谷委員とほぼ同じ意見だが、理解はできるが本当にこれで良いのかという思いもある。一言で言えば残念だ。アンケートについては、半分の方が理解できるということであるが、説明は丁寧に行っていただきたい。

「西部公民館だより」には小学生初心者スケート体験教室の案内が掲載されている。このような機会がなくなっていく。地域のスケート行事となると公民館でバスを用意して、長野のエムウェーブや軽井沢の風越へ行くということになる。また、そのような企画立案は非常に厳しい状況になってくると思う。今は小学校低学年がスケート教室、高学年が菅平や番所ヶ原でスキ

一教室を行っていると思うが、「スケート教室が小学校からなくなる」というのはいかがなものか。スケート場がなくなるのは、はある面で仕方ないかもしれないが、アンケートで半分の人は反対している。どのような人を対象に、アンケートがあったのか。また、市民の森のスケート場運営協議会はどのようなメンバーで構成されているのか。どのような協議が行われたのか、わからない部分があるが、廃止については、相当慎重に行っていただきたいと思う。

峯村教育長

厳しいご意見をいただいた。今後、6億円という金額がかかることは私も非常に重く受け止めている。上田市の財政がひっ迫している中で、どのようにしたらよいかと苦渋の決断である。ご指摘のように、市民の方にどのように説明していけばよいのかについては大事に考えていきたい。ご理解いただけるように努力をしていきたい。

北沢委員

スケート場がなくなるのであるならば、綿谷委員からも言われたように、例えば、スケート教室を行う場合にはバスを用意し、入場料も補助するというような納得できるような代替案を示していただきたい。市民の方の中にも、お子さんが小学校の低学年のうちには連れて行ったという方は多いと思う。スケート場をなくすということについては、市民にご理解いただけるよう丁寧な道筋を歩んだ方が私は良いと思う。

峯村教育長

上田市の負担分が1,800万円分ある。これだけの金額があればかなりの補助事業ができるのかと思う。代替というような案を説明しながら進めさせていただきたいと思う。

綿谷委員

スケート場を廃止した場合に、管理運営事業費はどのくらい減るのか。光熱費くらいが減ることか、それとももっと減ってくるのか。

櫻井スポーツ推進課長

先ほど申し上げた管理運営事業費には、ゴーカート場の運営費も入っている。ゴーカート場の運営費が令和元年度で言うと約200万円かかっている、令和元年度の収入が約200万円で収支同じになるので、負担軽減になるのは令和2年度で言うと約1,800万円の上田市負担分というところが純粋な経費から収入を引いた上田市の負担分になるので、この分が経費削減になる。

綿谷委員

スケート教室やスキー教室を、例えば、そのところに負担でできる可能性はあるか。

櫻井スポーツ推進課長

今の2、3年生のお子さんがもし長野なり風越のスケート教室へ行って全額を市で負担をしたと試算をしたところ、全てバス代まで借り上げて行った場合、約800万円かかるという試算をしているので、この中で十分スケート教室を引き続き行えるというように、それでもなおかつ、1,000万円ほどは市の負担が減って、他の事業の方に回していけるというように考えている。

峯村教育長

風越もそうだが、長野のエムウェーブもある。オリンピック会場でもあるので、そこへ行って滑るということは子どもたちも嬉しいのではないかと思う。

北沢委員

ある小学校の校長から、エムウェーブは屋根があり屋内なのでその面で言えば良いと言う話を聞いた。それでも、わざわざ長野や軽井沢まで行ってスケート教室というようになると、なかなか厳しいという話もある。これまで伝統的にこの地域は、小学校でスケート教室を行ってきた。スケート場がなくなっても、小学校のスケート経験を残す意味でも、廃止した後の対応を丁寧に説明していただきたいと思う。

峯村教育長

それでは、スケート場廃止の案についてはよろしいか。

○全員了承

3 報告事項

(1) 「令和4年上田市成人式」実施報告について(生涯学習・文化財課)【説明あり】

○資料2-1により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

資料2-1をお願いしたい。成人式の関係について4点ご報告させていただく。

- 1 主催 上田市・上田市教育委員会・成人式実行委員会
- 2 開催日 令和4年1月9日(日曜日)(成人の前日)

ギリギリであったが、レベル3の状況の中で開催できたことである。今のところ、成人式が原因でコロナに感染したという話は聞いていない。

- 3 会場および出席者数

状況については、資料記載の表のとおりである。なお、出席率については、73.6%とこれまでの水準まで達している。

- 4 新型コロナウイルス感染症対策実施事項

- (1) 参加者の多い会場は2回に分けて開催(上田文化会館・上田創造館)
- (2) 参加者は成人者のみとし、感染拡大防止の観点から御来賓(恩師含む)はお呼びしない。
- (3) 式典は30分程度とし、簡素化した必要最小限のプログラムとした。
- (4) 市側代表者7名(理事者・教育委員)は1会場1名の出席とした。

(5) 会場に関しては、三密回避、換気、検温、消毒の徹底に加え、事前申込側とメールアドレスの登録(緊急連絡用)、直近2週間の体温・体調を記録した健康調査カードの持参(体調管理)、全座席指定(濃厚接触者把握)など実施した。

(6) 開催判断の基準は、県感染警戒レベル「3」以下であれば7会場で開催とした。

5 その他

今後の成人式の関係だが、以前にも確認させていただいているが、上田市においては民法改正に伴う成年年齢18歳引き下げ以後も、上田市の成人式(仮)は引続き20歳を対象に開催予定を考えている。

峯村教育長

委員の皆さまには各会場へおいでいただいているわけだが、そのことで何か感想等をお出しいただきたい。

大久保委員

今年から初めて成人式に伺わせていただいて思ったことが、皆さんは割と静粛にさせていただいてとても良い成人式であり、直接お祝いの言葉を伝えられたことがよかったと思う。ただ、少しお話を聞くと、1月9日(日)の開催だったのでこういったコロナ禍の状況ではあったが、成人式から帰ってきたのが翌日の朝方だった等、式が終わった後にすごくはじけた方もいらっしまったようである。今年に関しては少し意地悪なようだが、10日(月・祝)の当日開催でもよかったのではと気がした。やはり、次の日はお休みということもあり、かなり出歩かれた成人の方もいらしたと思う。状況に応じてそのあたりの日程を考えていただきたい。

竜野生涯学習・文化財課長

その点については、直前に保健所からも注意喚起の指導があり、当日に急遽チラシを入れさせていただいた経緯がある。日程の関係については、7会場で分散ということで行っているのになかなか急に会場を変更することは厳しい面があるが、今後の参考にさせていただきたい。

綿谷委員

私は丸子の文化会館へ行かせていただいた。皆さんかなり真剣に向き合っていたと思う。ほとんど無駄口もなく厳粛に行われて非常にすばらしかった。事務局の皆さんもすばらしい対応をされていて、皆さんの記憶に残る成人式であったと思う。ほか、記念撮影等があり、そのときはやはり皆さんはかなり喜んで写真も撮られ、その中でも大人になったそのような自覚を持って行動をして写真撮影に臨まれていた。

北沢委員

武石公民館へ参加させていただいたが、非常にすばらしい。ここは武石小学校の卒業生なのでほぼ全員の出席であり、小学校の卒業式をもう1回行うような雰囲気でも会場も良く静粛であった。武石会場は人数も少ないということもあり、一人ひとりが30秒くらいの自己紹介を行い、「3年以内に会社を興したい」「幼稚園の先生になりたい」等、これからの夢を語ってい

た。また、働いている方は仕事を頑張っていること等、その一言ひとことが大変感動的であった。

以前にサントミュージーゼで一括して上田市の成人式を行うという話が出たことがあったが、上田市は地域密着型の成人式を続けていただきたいと思う。例えば、今年真田地区は保護者が参加できなかったが、コロナ以前は会場の後ろの方に見えていた。武石も保護者が見え、会場へは入れなかったが、会場外で我が子の写真を撮るために待っていた。上田市はこのような分散型の成人式で、しかも20歳ということで、今後もこの方向で良いのではないかと。

峯村教育長

成人年齢18歳引き下げについて、上田市としては20歳の成人式を実施していく。こちらは以前にも協議をしてこのまま継続させていただきたい。新聞を見ると、全国18歳で行うところは2つぐらいしかない。結局、18歳で行うと大学受験があったり、引っ越しもあったり、お金もかかり大変である。やはり20歳の方が家計負担も軽くなると思う。

○全員了承

(2) 5 大学リレー講座実施報告について (生涯学習・文化財課)

○資料2-2

(3) 令和4年ことぶき大学・大学院の新生募集について (中央公民館)

○資料3

(4) スポーツ関係市長表敬訪問者報告について (スポーツ推進課)

○資料4

(5) 寄付の状況について (教育総務課 学校教育課 上田・真田図書館)

○資料5-1 5-2 5-3

(6) 行事共催等申請状況について (学校教育課 生涯学習・文化財課)

○資料6-1 6-2

(7) 公民館だより (各公民館)

○資料7

峯村教育長

それでは、報告事項(2)から(7)までは説明はない。資料をご覧ください、ご意見等があればお出しいただきたい。

大久保委員

上田市生涯学習推進事業だが、今年で13年目ということで会場が割と塩田地域に集中しているが、これはもう少し分散させる検討等はないのか。

竜野生涯学習・文化財課長

5 大学リレー、コロナの関係で、本来5つの大学のキャンパスでそれぞれの教室、先生にお話をさせていただくということが目玉だが、今回、大学の方が外部の方には入ってもらっては困るという連絡があり、リモートでも一定程度の広さがあるというところで、たまたまマルチメディア情報センターの会場を確保できたということと、上田女子短期大学さんだけはいいですよということで入れていただいた経過がある。やはりそれぞれの大学で学んでいただくということが私たちの希望である。

大久保委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

○全員了承

4 その他

櫻井スポーツ推進課長

コロナ禍ということもあり、なかなか盛り上がりを見せてこない北京冬季オリンピックは2月4日から2月20日まで開催される。上田市出身の方で、スキージャンプの岩渕香里さん、スノーボードハーフパイプの今井胡桃さんが前回の平昌大会に続いて出場される。教育委員会としてこの駅前のパレオ、地域自治センター等に横断幕を掲げて応援の気分を盛り上げていきたいと考えている。前は壮行会を行ったが、今回はコロナ禍ということで行えないが、そのような形で応援していきたいと考えている。大会の日程だが、スキージャンプの方が2月5日、ハーフパイプの方が2月9日に1回目の大会が開催される予定となっている。ぜひ、応援をしていただければと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

それでは、以上で本日1月の定例会を終了にする。

○全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
